

あゆみ

No. 154

令和 2年 6月15日

編集 発行： 芥山寮・第二芥山寮

天草市本町下河内 680

TEL 0969-22-5339・0969-22-1766

FAX 0969-22-5090



みんなで楽しく通っているから
コロナなんかには絶対負けないよ

「ピンチをチャンスに」

施設長 鮎田 一夫

三月末日に第一五三号を発行してから約二ヶ月半、全ての障害者施設、介護施設がそうであるように、私達も施設内にコロナウイルスを持ち込まないことを最優先に支援を行ってきました。その間世の中では今まで社会に内在していた負の側面が出てきたり、見知らぬ人同士の温かい連帯が生まれたりしています。コロナ後の世界がどう変わっているかわかりませんが、人と人との繋がりを信じて、自分達のなすべきことを全うしていかなければなりません。

さて、多くの行事がなくなっている今の施設でできることは何か。いや、今だからこそできることがあるのではないかと。そういう発想の転換が必要です。周りを見回せばできること、やるべきことはたくさん転がっています。昨年度から支援の見直しを少しずつ始めていますが、昨年度特に力を入れたのは歩行の見直しと口腔ケアです。歩行は取り組みやすいように色々な準備をしたおかげで、歩行回数が非常に伸びました。それにもまして嬉しいのは、職員が「歩くぞ」と

いう意識を強く持つてくれ始めたことです。やはり職員の前向きな気持ちが一番大切です。口腔ケアは看護師を中心に月二、三回、個別に時間をとって行いました。食後の一斉歯磨きでは中々十分なケアができていなかったためです。支援員もともに行うことでケアのスキルが上がリ、口臭や出血が止まり食べかすがなくなった利用者が出てきました。まだまだ完全ではありませんので、今年度も引き続き行っていく予定です。さらに今年度は食の見直しを重点的に行う予定です。食器、テーブル、食形態などから食事メニュー、提食の仕方など課題はたくさんあります。給食、医務、支援が一緒になって知恵を絞り、利用者の大きな楽しみである食事が更に豊かになることを期待しています。

目の前に転がっている課題を職員が意識することがまずは大切なことなのでしょうが、歩行、口腔ケア、食の改善等具体的に取り組んでいけば職員の視点も育っていくのではないかと、これが最も期待しているところなんです。コロナウイルスによってもたらされたこの時間が、振り返ってみたときに意味のあるものだったと言えるようにしたいものです。

サービスの現場より

『事務所より』



事務長 和田 茂樹

特別定額給付（十万円給付）申請書が施設にも届きました。実施主体である天草市の住民基本台帳に記録されている方が対象のようです。総務省自治行政局の給付事業実施要領の代理人の範囲に「施設職員の代理が可能であること」とされていることから、苔山寮・第二苔山寮・グループホーム（はばたき・はちまん・浜荘）に届いた申請書は直ちに受給申請致しました。六月一日には入金されましたので趣旨を説明し、大切に遣っていただけけるようにしたいと思います。ご不明な点がございましたら「預かり金担当者」にご確認ください。

四月よりG Hの管理者を兼務し日誌類に目を通しています。クレープパーティーや手巻き寿司等リクエストメニューが食卓を飾り、息が切れるまでお話が出来ない楽しい夕食や就労先でマスクを作った納品された様子、連日帰りが遅く会えない方や朝から不機嫌でお話をされない方等、心配な事もあります。

月末にはサービス管理責任者、第二苔山寮の管理課長、支援課長同席で、世話人の皆さんと会議（世話人会議）を行っています。今月はカーテン等の補修箇所やコロナ禍で自粛していた外泊や、不要不急の外及び行事等を徐々に解除していくこと、初夏の食中毒への注意や健康診断の結果から生活習慣病やその予備軍の方の軽運動や炭酸飲料、間食の見直しの必要性について確認することができました。その他にも休日のごし方や部屋の様子等生活状況を知る良い機会となっています。

『私の担当利用者さんへの取り組み』



支援員 吉永 聖

私は、二人の利用者さんの担当をさせて頂いています。Kさんはとても集中力があり興味を持ったことに対しては熱心に取り組まれますので、色々な事に挑戦してもらい興味ある活動で作品を作り出展すると言う目標を立て活動しています。現在は塗り絵やスクラッチアートなどに熱心に取り組まれており、オープンカフェや居室で展示を行いました。オープンカフェでは自分の作品を指差して満面の笑みで喜んで下さいました。今後も楽しんで活動できるように、色々な文房具などを準備して一緒に制作活動を行い、楽しく充実した生活が送ってもらえるようにサポートしていきます。

四月から担当させて頂いているMさんは、体を動かすという目標のもと、歩行活動を頑張ってくれています。朝礼でのラジオ体操や合唱は一緒にいき、天気の良い日はMさんと手を繋ぎ、外をマンツーマンで歩いていただくことにより、体を動かしてもらうと同時に信頼関係の構築に努めています。歩行に適さない気温の高い日や悪天候の日は施設内歩行に取り組んでいます。歩行後には水分補給もしっかり行っています。その他にも全体の掃除活動にも参加してもらい、出来るだけ体を動かしてもらるように支援をしています。これから暑くなるので、体調面などにはしっかりと気を配りながら、これからは歩行活動をメインに体を動かして、元気に暮らして頂けるように一緒に頑張っていけたらと思います。

まだまだ未熟な私ですが、利用者さんの笑顔がたくさん見れるように、そして楽しく健康な生活を送って頂けるようにサポートをして行きたいと思っています。

『私の担当利用者さんへの取り組み』



支援員 村田 陽次

第二苔山寮に勤めて、やがて二年が経とうとしています。まだまだ支援員としては未熟ですが、毎日利用者の皆さんと楽しく過ごさせて頂いています。担当利用者さんの取り組みですが、今年で担当二年目で四一歳になられたMさんは、牛深出身で魚釣りが大好きな方です。活動意欲の向上に繋げる為に毎日楽しく施設生活を過ごして頂けるよう工夫し、本人の好きな魚釣りで大物を釣ると言う目標を掲げ支援しています。個別で魚釣りに行ったり釣りサークル活動に参加したりすることで気分転換になり、すばる班の活動にも積極的に参加出来ています。しかし、今は新型コロナウイルス拡大防止の為、自粛の日々が続いており魚釣りは実施出来ていませんが、活動以外の余暇を使い釣り竿のメンテナンスをしたりして魚釣りに行ける時を待ち望んでおられます。活動意欲を持って貰えるよう一日も早く魚釣りを実施出来ればと思います。

生活面においては、見直すところが多く見られました。特に清潔にするという意識が低く一回着た衣類を洗濯に出さずタンスに仕舞い込み臭がしていたり、服装に関しては、冬の寒い日に半袖を着ていたり夏の暑い日に厚着をしたりと、無頓着のところも沢山有りましたが、毎日声掛けを行いタンスの中の整理整頓をお手伝いしたり、衣替えの時に夏服と冬服をしっかり分けることで改善ができてきました。その他にも食後の歯磨きをしっかりと行っていたので、歯磨きチェック表を作成しチェックしてもらったことで、磨き残しが無くなりました。日頃の観察をしっかりと行いながら、Mさんに施設での生活を楽しく過ごしてもらえようサポートして行こうと思います。

『給食委員会のごとく』

管理栄養士 長嶋 さおり



三六五日三度三度、一年間で千回以上いただく“食事”をどうしたら美味しくできるか?どうしたら美味しくできるか?どうしたら美味しくできるか?など、利用者の皆様の食の充実を図ることを考え、実施していく委員会です。メンバーは、給食職員十一名、利用者三名、支援員一名計十六名です。

給食委員会の目標は、①家庭料理のような食事の提供をする②新しい料理、新しい味を体験してもらう③健康をつくる④病気の悪化を防ぐです。この目標の根底には、『利用者の方にとって施設はもうひとつの家』であり、そこで家庭で食べるような食事を心掛けたい、しかし、外食の機会の少ない方にイタリアンやフレンチ・中華料理・韓国料理など珍しい味にも触れていただきたい、ずっと健康でいてほしいなど『自分の家族だったらどうするか?』という想いが込められています。

活動としては毎日の献立の検討、バイキング等の行事食の立案、感染症時の対策、栄養管理の実施などがあります。また、食について学ぶことで毎日の食事をただ食べるだけでなく、楽しく味わってもらおうと調理サークルや調理実習の実施、生の食材や写真、イラストを用いた食育活動を行っています。

給食委員会の利用者の方は、みんなの食べたいものをまとめて会議にて毎月要望を出してください。毎回十〜四十個ほどのリクエストがあり、献立に反映させて頂いています。令和元年度はリクエストメニューは年間七八回(約六回/月)、新メニューについては年間四八回(約四回/月)実施し、利用者の方に喜んでいただきました。今後もさらなる充実を目指して取り組んでまいります。

『Challenge to COJ』

支援員 松山 憲士



地域活動委員会では四月より新しい活動として『チャレンジ to 0』(ゼロへの挑戦)を始めました。活動内容は、月に一回天草の各所に行ってゴミ拾いをする事です。活動名の由来は、天草の豊かな自然を守るために天草のゴミをゼロにしたいという思いからきています。

四月は茂木根海水浴場、通詞島に行きました。新型コロナウイルス感染予防のためマスク着用しての実施となりました。最初に茂木根海水浴場に行きました。活動前はゴミがたくさんあるイメージはありませんでしたが、実際に行ってみると植木の上にペットボトルや空き缶が捨てられていたり、草むらには家庭用ゴミがそのまま捨てられていました。当然海岸に流れ着いたゴミもありました。昼食は密を避けるために弁当を注文して人気のない広場で食べることにしました。通詞島では漁港横の空き地をゴミ拾いました。釣りのゴミや煙草の吸殻などがありました。利用者の皆さんは「〜が落ちてたよ」や「こんなにあったよ」と楽しみなながらゴミ拾いをしてくれました。最終的に二か所のゴミの量は約二九kgにもなりました。予想を遙かに超える量に驚きましたが、私たちが住む大好きな天草を少しでもきれいにすることができ、嬉しく思います。ゴミをゼロにすることは難しいと思いますが、

天草の自然を守るためにこれからも頑張っていきたいと思えます。五月は雨天中止となりましたが、六月はぜひ活動したいと利用者の方々と話しています。利用者の方々が活動可能な場所で、ゴミが落ちている所がありましたらぜひご連絡下さい。

『遠足のごとく』

支援副主任 山口 智史



新型コロナウイルス感染予防の観点から、利用者の方には三月中旬頃より、外出・買物・帰省や面会も自粛して貰っており、六月から少しずつ解除に向かっていく状況です。楽しみにしておられる家族交流会や愛藍ピクニックなどの行事も中止となってしまい、利用者の皆さんにも徐々にストレスが溜まっていくのが分かってきました。そこで、両施設で何か出来る出来ないかと考えた結果、遠足に行く事で少しでもストレスが発散出来ればという思いから計画を始めました。本来であれば皆でワイワイお喋りしながら・・・が一番楽しいのですが、三密を避けるため今回はそういうわけにも行かず、少人数のグループに分け、歩く速度から掛かる時間を計算、グループ間の距離など考慮し、時間差での出発を行い、西の久保公園で小休止をして一時間ほどで帰って来れるコースを2つ作り実施しました。休憩地点では皆さん談笑され「あと半分頑張ろう!」と互いに元気な声を掛け合っていました。

帰寮してからは、皆で材料を切ってカレーを作り、豚バラやソーセージを串焼きにし、外にテーブルを設置、自分たちで作ったカレーや串焼きをバイキング形式で「美味しい、美味しい」「美味しかった」「またしようね」と堪能、何度もおかわりされていて楽しんで貰えた様子が窺え、私達支援員も達成感を味わうことが出来ました。今まで経験したことのない状況ではありますが、そんな中でも利用者さんの声に耳を傾け、出来ることを考え、皆さんの笑顔を引き出せるように、また、安心して生活して貰えるように支援していきたいと思えます。

Online Engagement to 0 (四月二〇日)

ゴミポースを目指して



① 皆でゴミポース!



② 拾います拾います



③ まだまだ拾います



④ 慌てない慌てない
一休み一休み...



⑤ 分別もしっかりと
しておかないとね



⑥ 参加者全員で!
ゴミポース!



⑦ ごくくんに拾いました

参加した利用者の皆さん
 ・ 芥山寮
 池田 富春さん
 山下 久美さん
 吉村 裕貴さん
 ・ 第二芥山寮
 大園 佑大さん
 田中 秀幸さん
 松下 昇さん
 山本 直尋さん

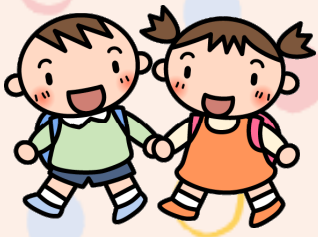


遠足・レクリエーション(五月十二日)

寮から西の久保公園を通過し、再び寮を目指してみんな頑張ろう!



無理をしないように小休止。帰ったら美味しいお風呂が待ってるよ!



沢山歩いたから沢山食べちゃいました。もうさつたままでたー!!



みんなでも楽しく過ごしたゴールデンウィーク!!!

レクリエーション・映画鑑賞

五月三日に多目的ホールにてレクリエーションを行いました。楽器演奏やキャッチボール、フリスビーや玉入れなど室内での活動となりましたが、利用者の皆さんだけではなく職員も楽しく体を動かすことが出来ました。

施設では、近年は利用者の皆さんの体力向上を目標に掲げています。今後も明るく楽しく運動できるように職員一同知恵を絞って、利用者と一緒に両方が楽しめるように取り組んでいきます。

五月四日には荅山寮のホールにて映画鑑賞会を実施しました。すべての利用者の皆さんに楽しんでいただけるように「日本昔話」と先日お亡くなりになられた「志村けん」さんのDVDを鑑賞しました。皆さん懐かしかったようでとても楽しそうに見ていらっしやいました。志村けんさんが登場するとコロナの影響で外出できないストレスを忘れたかのように職員も一緒に笑って見えていました。



たこ焼きパーティー

五月六日は潮干狩りが予定されていましたが、三密を避けるためということで代わりに施設内でたこ焼きパーティーが行われました。

職員と利用者が協力して調理したたこ焼きの味は格別で、自粛生活と言う事を忘れさせてくれる一時となりました。利用者の皆さんからは「今度はたこだけでなく、チーズを入れてみようか」や「お好み焼きも食べたいなあ」という声も上がり、笑顔があふれていました。



工夫でコロナを乗り切る!

現在、世間でコロナウイルスが猛威を振るっています。その影響は施設生活にも及んでおり、利用者の皆さんには大変不便な生活ではないかと思えます。そんな中、施設単位での備品の調達、特にマスクに関しては今後のことを見据えて全員が工夫をしています。

マスク温存のため、手作りマスクを作成し着用している職員が目立ちます。思い思いの手作りマスクを着用していて、ファッションショーを見ているようです。こんな大変な時期でもみんな協力し、明るく乗り切ろうという気持ちになります。皆で工夫し合い、この苦境を一致団結して乗り切りましょう!



【新職員紹介】

中本 慎也さん(茅山寮・支援員)



出身は天草町です。

以前は滋賀県にある工場勤務
していました。初心者ですが精
一杯頑張ります。
(五月一日より勤務)

【人事紹介】四月一日付け

▽和田 茂樹(事務長) ↓ 事務長兼グループホーム管理者)

▽長嶋さおり(管理栄養士) ↓ 副主任管理栄養士)

▽山口 智史(支援員) ↓ 支援副主任)

【一ノ瀬花壇の紹介】

本渡峯北線と本渡五和線の交わる交差点にある一ノ瀬交差点に施設で管理している花壇があります。季節が変わるごとに旬の花を植え、交差点の一角を彩っています。暑い季節は水やりなど大変ですが、近隣の施設と協力して維持に努めています。今回は利用者の皆さんと本町地区振興会より頂きました花苗を植える作業に向かいました。本町地区振興会の皆様、ありがとうございます。

「今年も花壇を見てくださった皆さんに

笑顔が届きますように」



利用者の風景

松本 隆さん

先日、誕生日をむかえられ六八歳
になりました。まだまだ若いもん
には負けないぞと思わせる程元氣
で、いつも明るい表情で活動に参加
されています。

今はプランターで花や野菜を育て
ています。花は綺麗に咲き出しまし
ています。野菜はキュウリとパプリカを植
えています。実がなるのを楽しみに
一生懸命お世話をされています。担
当である私も、実がなったときの隆
さんの笑顔を見るのが今から楽しみ
です。



田中 麻美さん

毎日、グループホームはちまん
から第二茅山寮まで自転車もしく
は徒歩で通所されています(片道
約三キロ)。夏の暑い日には沢山汗
をかきながらも疲れた顔をせず、
第二茅山寮に着くと職員や他の利
用者の皆さんに向けて大きな声で
気持ちのいい挨拶をしてください
ます。

日中はすばる班で活動されてい
て、野菜収穫の手伝いやハウスの
除草作業を頑張っています。おしゃべりが好きで笑顔の
かわいい麻美さんです。



行事予定

(変更あり次第、連絡します)

六月 十七日

家族交流会(中止)

二三日

災害対応訓練

二七日

愛藍ピック(中止)

七月

配置医来寮

一日

不審者対応訓練

八日

亀川小学校福祉説明会(延期)

八月

天草ハイヤ道中総踊り(中止)

一日

配置医来寮

五日

レクリエーションの日

十三日

啓明会ホームページにて茅
山寮・第二茅山寮の最近の出
来事や行事を紹介させていただきます

「レイザンTOPIX」
を開設、随時更新しています。
詳細はホーム
ページをご覧
下さい。



<http://keimeikai.amakusa-web.jp/>
上記QRコードのスクリーン、
URLの入力もしくは
「社会福祉法人啓明会」
で検索お願いし

レイザン TOPIX

編集後記

令和二年度が始まって早二ヶ月が経ちました。コロナ禍によつて世間は新年度が足踏み状態となっていました。全国に発令されていた緊急事態宣言も解除され、少しずつ以前の日常を取り戻しつつあります。しかしまだ、見えない敵はどこかに身を潜めています。施設においてもガイドラインを立ち上げ、利用者の皆さんが安全かつ安心して生活して頂けるよう全職員で協力しています。皆でコロナに打ち勝ちましょう！今こそ「ONE TEAM!」少し古いですがね・・・。